

# 人文科学系学科の卒業論文についての調査

2011年11月

学習院大学人文科学研究所共同研究プロジェクト

「人文系学士課程教育における卒業論文がもたらす学習効果の検証」

## 調査へのご協力をお願い

- 本調査は、我が国大学の人文科学系学科における卒業論文（卒業研究を含む）の設置状況や、指導のあり方等の実態を明らかにしようとするものです。
- 全国の国公立大学の全ての人文科学系学科の学科長の先生方に、本調査へのご協力をお願いしています。
- 回答にあたっては、事務ご担当者と適宜協力の上、お答え願います。
- 回答は全て統計的に処理され、貴学科に係る情報が他の目的で使われることは決してありませんので、現状やお考えをありのままにご記入願います。
- 本調査の結果は、個別の大学・学科名が特定されない形で、学術的な観点から一部公表されることをご了承下さい。

★本調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学人文科学研究所 客員所員 篠田 雅人

E-mail : masato.shinoda@gakushuin.ac.jp

n=487

※以下の結果は訂正されることがあります。なおNAは無回答を意味します。

●はじめに、貴学科（課程等を含みます。以下同様です）の基本的なことがらについてお聞きします。特に断りのない限り、2011年5月1日現在についてお答え下さい。

Q01 Aについては、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。B・Cについては（ ）内に名称を記入し、D～Gについては（ ）内に数字を記入して下さい。

A. 設置者 9.2 国立 5.7 公立 85.0 私立

B. 大学名 ( )

C. 学部・学科名 ( )

D. 学科の設置年 西暦 (1949年以前 11.3 50-59年 3.5 60-69年 9.2 70-79年 4.7  
80-89年 6.6 90-99年 17.7 2000年以降 42.5 ) NA 4.5

E. 選抜方法別・入学定員数の割合 (概算で構いませんので、整数でお答え下さい。)

1. 貴校独自入試のみ ( 3.0 ) 割 2. センター試験と貴校独自入試 ( 2.8 ) 割

3. センター試験のみ ( 0.6 ) 割 4. 附属高校（系列校を含む）からの内部進学 ( 0.6 ) 割

5. 推薦入試（指定校推薦や公募推薦、自己推薦、AO入試を含む） ( 3.4 ) 割

F. 学科の専任教員数 ( 19 ) 人

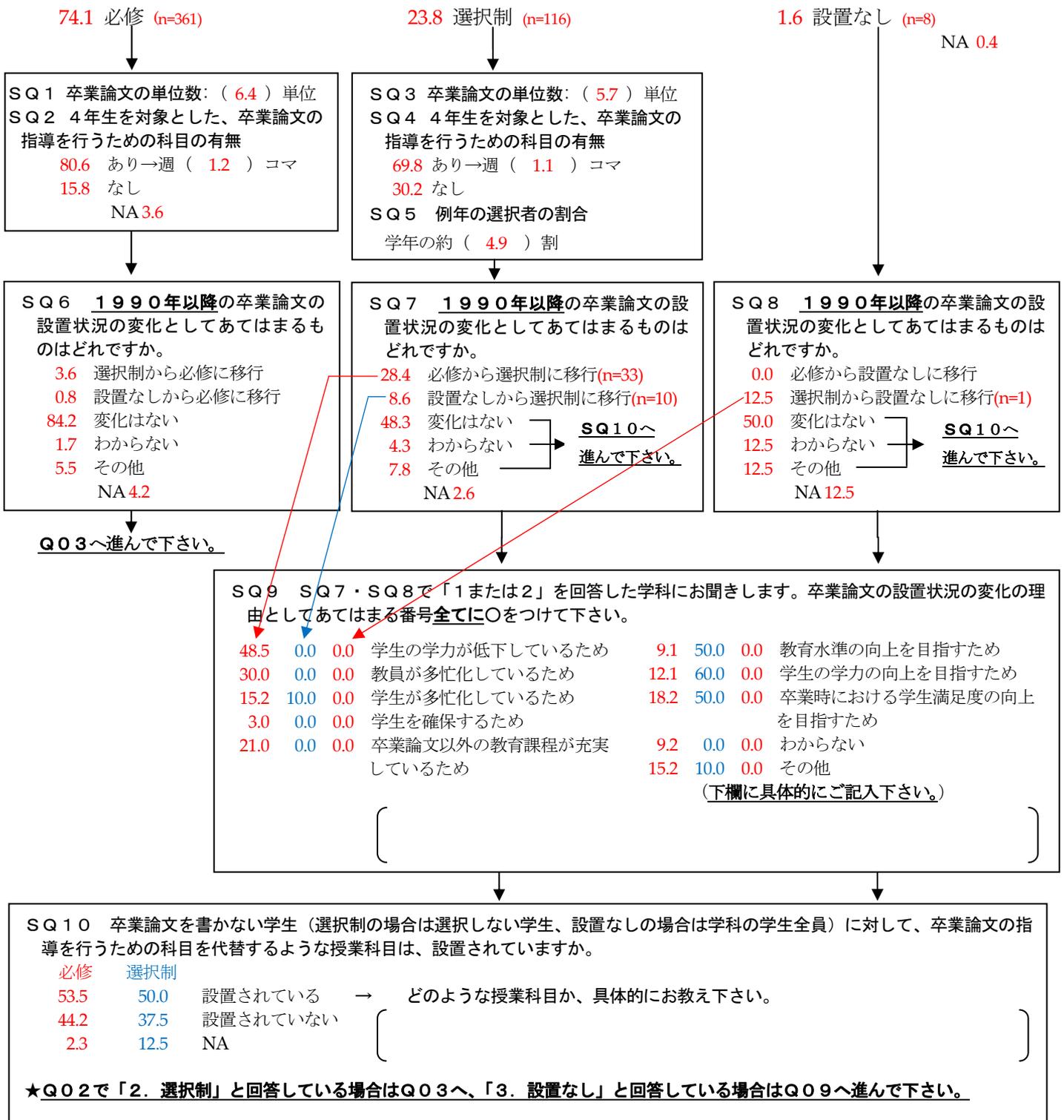
G. 学科の国籍・地域別学生数（聴講生や科目等履修生は除く）

1. 日本人学生 ( 480 ) 人、そのうち4年生（留年者を含む） ( 131 ) 人

2. 外国人学生 ( 14 ) 人、そのうち4年生（留年者を含む） ( 4 ) 人

●貴学科の「卒業論文」の基本的なことがらについてお聞きします。本調査における「卒業論文」とは、「学部4年次学生が、学修成果の評価を受けるために提出する論文」のことを指します。貴学科が、本調査の「卒業論文」と同等の論文の執筆を学生に課している場合、「卒業研究」等のように名称が異なっても、「卒業論文」と同じものとしてお答え下さい。

Q02 卒業論文の設置状況についてあてはまるものはどれですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。なお、「1. 必修」は、卒業論文が学科の学生全員の卒業要件になっている場合をさします。また、( ) 内には数字を記入して下さい。



2年生 1.5  
 3年生 4~9月 23.6  
 3年生 10~3月 22.5  
 4年生 4月 43.0  
 4年生 5月以降 4.2  
 NA 5.2

12月前半以前 20.5  
 12月後半 24.6  
 1月前半 28.0  
 1月後半 14.8  
 2月以降 2.5  
 NA 9.4

Q03 卒業論文に係る諸規定について、以下のことをお聞きします。

- A. 卒業論文の指導が始まる学年および時期 ( ) 年生の ( ) 月頃  
 B. 2010年度の提出締切日 ( ) 月 ( ) 日  
 C. 分量  
 NA 19.6 【下限】 26.9 規定なし 53.4 規定あり → ( 16,644 ) 字以上  
 NA 29.4 【上限】 59.9 規定なし 10.6 規定あり → ( 28,318 ) 字以下 具体的にご記入下さい。  
 NA 58.0 【その他(例えば「原稿用紙100枚程度」等)】 17.5 規定なし 24.4 規定あり → ( )
- D. 卒業論文の執筆形式  
 0.4 手書きを義務付けている 34.5 パソコンによる執筆を義務付けている  
 56.9 手書きでもパソコンによる執筆でもよい 5.3 その他 ( ) NA 1.3
- E. 論文要旨の提出義務  
 45.9 義務付けている 48.0 論文要旨の提出制度はない 5.0 その他 ( ) NA 1.0
- F. 卒業論文執筆上、使用を認めている言語  
 65.3 規定なし 31.7 規定あり NA 2.9  
 → 使用を認めている言語を、選択肢から全て選んでご記入下さい。  
 【日本人学生の場合】 83.7 日本語 7.2 中国語 3.6 韓国語 46.4 英語 7.2 仏語 6.0 独語 3.0 その他の言語  
 【外国人学生の場合】 48.2 日本語 3.6 中国語 1.8 韓国語 25.3 英語 3.6 仏語 1.8 独語 1.8 その他の言語
- G. 卒業論文の保管の状況  
 49.9 保管している 26.9 保管せず執筆者に返却している 21.3 その他 ( ) NA 1.9  
 ↓  
 SQ 貴学科が保管している卒業論文を閲覧できる人(あてはまる番号全てに○をつけて下さい)。  
 80.2 貴学科の学生 46.4 同じ学部の他学科の学生 35.9 他学部の学生 48.0 同じ学部の他学科の教員  
 37.5 他学部の教員 9.4 学外者 21.0 その他 ( )

●貴学科の卒業論文の指導や評価等についてお聞きします。

Q04 卒業論文の指導について、以下のことをお聞きします。

- A. 4年生を対象に卒業論文の指導を行うための科目の担当教員  
 42.0 学科に所属する専任教員全員 46.6 当該学生の指導教員(副査等を含む)のみ  
 6.5 卒業論文の指導を行うための科目は設置されていない 4.6 その他 ( ) NA 0.4
- B. 4年生を対象にふだんの指導(科目以外の指導)にあたる教員  
 48.4 学科に所属する専任教員全員 43.4 当該学生の指導教員(副査等を含む)のみ  
 5.2 その他 ( ) NA 2.9
- C. 貴学科(または学部、大学全体)が作成した、学生向けの卒業論文執筆の手引きの有無  
 44.5 ない 52.2 ある → 本調査票ご返送の際に、コピーを添付して頂けましたら幸いです。 NA 0.6
- D. 卒業論文と就職活動との関係  
 14.2 卒業論文を優先させる指導方針をとっている 4.2 就職活動を優先させる指導方針をとっている  
 67.0 学科としての指導方針はない 13.2 その他 ( ) NA 1.5
- E. 卒業論文の執筆が順調ではない学生に対する支援の有無(行われている支援全てに○をつけて下さい)。  
 6.9 大学院生による支援 90.0 指導教員による支援  
 25.3 指導教員を含む学科の複数の教員による支援 13.6 学科全体におけるオフィスアワー充実の推進  
 19.0 学生の自主性に任せる 3.3 その他 ( )
- F. 2007年度の入学者数に対する、2010年度に卒業論文を提出した学生数の比率  
 (おおまかで構いませんので、整数でお答え下さい。) ( 必修 89.0 選択制 45.8 ) パーセント

Q05 卒業論文の評価体制について、以下のことをお聞きします。

A. 口頭試問を行う教員

16.7 学科に所属する専任教員全員 45.9 当該学生の指導教員（副査等を含む）のみ  
 10.9 その他（ ） 10.9 口頭試問は行わない NA 1.5

B. 卒業論文を評価する教員

17.5 学科に所属する専任教員全員 73.9 当該学生の指導教員（副査等を含む）のみ  
 7.3 その他（ ） NA 0.8

Q06 貴学科は、卒業論文の評価時に、以下の観点をどれくらい重視していますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とても重視している	ある程度重視している	あまり重視していない	全く重視していない	
A. 問題設定の適切性	44.9	45.7	2.9	0.4	NA 6.1
B. 先行研究のレビュー	27.1	57.4	8.6	0.6	NA 6.3
C. 全体の体裁（引用の仕方、文献表の作り方等）	43.0	48.2	2.1	0.0	NA 6.7
D. 一次データ（原典、史料も含む）の利用	33.6	49.1	9.6	0.6	NA 7.1
E. 独創性	24.2	50.7	17.1	1.3	NA 6.7
F. 論理的な文章構成	47.0	45.1	1.9	0.0	NA 6.1
G. 文章の分かりやすさ	34.2	55.5	3.1	0.0	NA 7.1
H. 論文全体の分量	20.0	52.0	20.3	1.5	NA 6.3

●学科長の先生個人のお考え等についてお聞きします。

Q07 貴学科の多くの学生にとって、卒業論文を書くという経験は、どのような意義を持つとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	
A. 学術論文を書くという体験	40.9	42.0	13.8	1.0	NA 2.3
B. 学問の奥深さに触れる体験	35.9	49.5	11.7	0.4	NA 2.5
C. 専門教育の総仕上げ	56.6	33.8	6.9	0.0	NA 2.7
D. 専門分野の知識の深化	37.2	51.8	8.4	0.0	NA 2.7
E. 困難なことを最後までやり遂げる経験	68.9	26.1	2.5	0.0	NA 2.5
F. 自分の主張を分かりやすく伝える方法を学ぶ経験	58.2	34.4	4.8	0.0	NA 2.5
G. 主体的な学習態度の涵養	66.0	27.8	3.8	0.2	NA 2.3

Q08 ご自身が学士課程在籍時に受けた卒業論文の指導は、現在振り返ってみて、ご自身が貴学科で行ってこられた卒業論文の指導に、役に立っていますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

28.0 役に立っている 32.8 やや役に立っている 26.7 あまり役に立っていない 6.9 全く役に立っていない  
 3.1 経験していない NA 2.5

Q09 ご自身が学部を卒業されたのはいつですか。（ ）内に数字をご記入下さい。西暦（ ）年  
 50-59年 0.4 60-69年 9.4 70-79年 45.8 80-89年 33.5 90-99年 4.7 2000年以降 0.8 NA 5.3

Q10 人文科学系学科の学士課程教育における、卒業論文の現状や今後のあり方等について、差し支えなければ、ご自身の意見を自由にお書き下さい。

●質問はこれで終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。